

【政治】

大連市、建築工程の安全性・品質に対する検査活動開始

天津港で発生した大規模爆発事故を受け、大連市建設委員会は市全域の建設行政部門指導者及び品質・安全監督機関の責任者を組織し、建築工程の安全性と品質に関する会議を開催した。会議上、国家、省、市安全生産工作会議の精神が伝えられ、市全域における建築工程の安全性と品質に対する検査活動が手配された。会議で紹介されたところ、8月20日から28日までは企業による自己検査及び建設行政主管部門による検査期間で、8月31日から9月2日までは市建設委員会検査グループによる検査期間となる。（22日付大連日報2面）

22日：「三厳三実」テーマ教育第2回テーマ学習会議開催

22日、市党委員会中心グループは「三厳三実」テーマ教育第2回テーマ学習会議を開催した。会議は党の政治規律を厳守することに焦点をあて、周永康、薄熙来、徐才厚といった規律違反事案を反面教師とし、規律違反がもたらす重大な危害を認識し、今後の目標を明確にしたうえで、「三厳三実」の学習と実践に対する自覚をよりいっそう強めた。唐軍書記、肖盛峰市長らが会議に参加した（当事務所注：「三厳三実」とは、習近平総書記が談話の中で発表した「修身に厳しく、権限使用に厳しく、己を律することに厳しく、また実際を必要とし、創業には実際を必要とし、人と協調するには実際を必要とすること」という反腐敗に関する理念のこと）。（24日付大連日報1面）

また、同日市幹部は甘井子区の「反腐敗・清廉潔白警告教育基地」を参観した。幹部らは教育基地内の各種展示を眺め、腐敗防止への決意を新たにした。（25日付半島辰報A12面）

26日：第15期市政府第39回常務会議開催

26日、肖盛峰市長の主宰により第15期市政府第39回常務会議が開催され、「大連市の建築産業現代化を推進することに関する実施意見」、「大連市ハイテク企業育成政策実施法案」等を審議・採択した。（27日付半島辰報A14面）

27日：市委常務委員拡大会議開催

27日、唐軍書記の主宰により市委常務委員拡大会議が開催され、安全生産政策の進捗状況に関する聞き取りが行われた。会議は「中共大連市委弁公庁・大連市人民政府弁公庁による安全生産の監督・管理を強化する法執行に関する意見」を審議・採択し、中央政府による安全生産管理の強化に関する指示・精神を貫徹していくことを強調した。会議はまた全国司法体制改革試験工作推進会の精神を紹介し、更に2015年のプロジェクト推進状況検査「模範プロジェクト」及び「優秀措置」、「都市のスマート化建設政策を更に推進していくことに関する意見」を審議・採択した。（28日付半島辰報A13面）

市政府、政府機構の簡素化と権限委譲のための新政策を公布

市政府は政府機構の簡素化と権限委譲を更に推進していくための新政策を公布した。新政策は行政審査と投資審査改革を推し進めていくことを強調し、市政府部門における「非行政審査許可」項目の整理と取消し作業を全面的に達成させ、「非行政審査許可」を下放し、政府の審査項目から完全になくしていくことを要求している。また、市政府は法律に違反して設けられた料金徴収型の基金項目に対する取り締まりを断行していくと宣言した。（28日付新商報A11面）

【経済】

大連市、ロシアの主要な農産物輸入先に

先日、大連市の農産物を生産販売する30余りの企業が集まって物産展が行われ、大連の農産物は内モンゴル自治区満州里及びロシアの販売業者の注目を集め、次々と売買契約が結ばれた。販売業者によれば、大連市はすでにロシアの主要な農産物輸入先となっており、内モンゴル自治区満州里の検問所を通してロシアに輸出される青果物のうち、半分は大連産であるという。ロシアは経済制裁への対抗措置として、昨年からEU、米国、オーストラリア、カナダ、ノルウェーなどからの青果物、肉類、魚類、乳製品といった農産品の輸入を全面的に禁止しており、その結果大連市がロシアの主要な農産物輸入先となった。(22日付大連日報1面)

22日：唐軍書記・肖盛峰市長、中国誠通ホールディングス馬正武董事長等と会見

22日、唐軍書記と肖盛峰市長は中国誠通ホールディングス馬正武董事長が率いる企業家一行と会見した。双方は大連市の公共交通、物流、タクシー、自家用車等の領域における新燃料車の普及と新燃料車産業の発展について意見を交換し、今後当該分野において協力関係を深めていくことを確認した。(23日付大連日報1面)

「経済力・競争力の高い県(市)トップ100」発表、瓦房店市が全国第11位に

「第15回全国経済・基本競争力の高い県(市)トップ100リスト」が発表され、瓦房店市が全国第11位に、庄河市が第38位に、普蘭店市が第48位にランクインした。遼寧省からはこの3市を含め、7つの県・市がトップ100に選ばれた。(24日付大連日報1面)

中国最大の起業家コミュニティ「黒馬会」、大連市に分会を設立

先日、市内にて「黒馬会大連分会」の設立大会が開催された。「黒馬(ダークホース)会」は2013年に設立された起業家支援を目的としたコミュニティであり、その会員も全て起業家で構成されている。同会は成立以来348の企業をサポートし、438件の融資を実行し、その総額は112億元以上に及ぶ。(24日付半島辰報A6面)

23日：肖盛峰市長、三菱重工の木村和明取締役常務執行役員と会見

23日、肖盛峰市長は三菱重工の木村和明取締役常務執行役員一行と会見、双方は交流と協力を深めていくこと等について意見を交換し、合意に達した。肖盛峰市長は改革開放以来日本企業が大連の経済・社会発展に対し果たしてきた貢献を強調し、今後市場環境を更に最適化し、大連に投資する企業に更なる良質のサービスを提供していくと述べた。木村執行役員はこれに対し、今後省エネ、環境保護といった領域の技術力を生かし、大連の発展のため更なる貢献をしていきたいと語った。(25日付半島辰報A12面)

25日：アリババグループと大連ナマコ協会、大連ナマコのPRのため協力関係締結

25日、アリババグループと大連ナマコ協会は大連ナマコのブランド価値を高めるための戦略協力関係を締結し、共同で「インターネット+大連ナマコ」及びデファクトスタンダード(業界標準)発表会を開催した。また、肖盛峰市長はアリババグループ一行と会見し、今回の戦略協力関係締結を契機とし、大連の海産物の知名度を上げ、他の領域においても協力関係を深めていきたい旨述べた。(26日付半島辰報A13面)

25日：肖盛峰市長、シスコシステムズのオリビエ・コラー・グローバル首席行政官と会見

25日、肖盛峰市長はシスコシステムズのオリビエ・コラー・グローバル首席行政官一行と会見し、今後協力関係を強めていくことで合意に達した。シスコシステムズは2008年から大連に支社を設立している。(26日付半島辰報 A13 面)

大連市、市中心部での液化石油ガス使用禁止を検討

25日、市のガス主管部門は、市中心部での液化石油ガス使用を段階的に禁止していくことを検討中であると発表した。(26日付大連晩報 B3 面)

25日：2015年大連国際買い付け商談会開催

25日、2015年大連国際買い付け商談会が開催され、米、仏、独、伊、韓など40以上の国・地域から集まった200社以上のバイヤーが500社近い大連企業と商談を行った。当該商談会には機械、建築材料、食品、工芸品、ファッション、照明、農産物等多くの業界が参加し、当日締結された(又は締結意思のある)契約額は全体で3.2億ドルにのぼった。(26日付半島辰報 A6 面)

2015年夏季ダボス会議開催に向けた準備作業が進行中

2015年の夏季ダボス会議開催に向けた準備作業が着々と進められている。会場及び周辺安全管理体制が強化され、また会議に用いる備品等についてもレンタルできるものはレンタルし、一昨年に使用したものを再度使用するなど、大幅な経費の削減に成功している。また、空港・ホテル、ホテル・会場間に電気自動車のシャトルバスを運行させる等、グリーンと環境保護にも力を注いでいる。(26日付新商報 A12 面)

26日：肖盛峰市長、夏季ダボス会議開催に向けた準備状況を視察

26日、肖盛峰市長は関係各部門の責任者を率い国際会議場を訪問し、夏季ダボス会議開催に向けた準備状況を視察した。肖盛峰市長は関係各部門に「実戦態勢」に入るよう強調し、綿密に各方面の準備作業を進めていくよう要求した。(27日半島辰報 A14 面)

【社会・文化】

「12345市民サービスホットライン」、市民のクレームに24時間365日電話対応

先日、「12345市民サービスホットラインへのクレーム・通報対応法」が市政府の公式HPで発表・施行された。この法によれば、今後24時間365日対応の「12345コールセンター」が市民からのクレーム・通報を一括して受理し、音声サービスに従って関係各部門につなげられる。(23日付大連晩報 A4 面)

27日：市政協副主席、市のサッカー発展状況を視察

27日、王乃波市政協副主席は市政協委員数名を率い、大連湾体育公園、大連湾金地小学校、大連湾体育館を訪問し、市内のサッカー発展状況を視察した。市体育局の情報によれば、現在大連市は「大連サッカーの第13次5か年計画」を編纂中であるという。また、大連におけるアマチュアサッカーの規模は全国でもトップレベルで、現時点で2100チーム余りのアマチュアサッカーチームが登録され、サッカー人口は約40万人にまで増加し、総人口に占める割合は約7%に達するという。(28日付大連晩報 A2 面)

【日本関連報道】

24日：「大連解放書類・文献・写真展」開幕

24日、「大連解放書類・文献・写真展」の開幕、及び資料集「永久不変の記憶」の出版を発表するセレモニーが大連市檔案局にて行われた。同展覧では180点余りの抗日戦争資料が展示され、中でも抗日放火団に関する資料、日本軍が降伏後焼却処分した資料の一部、日本の憲兵隊が中共満州省委員会及び東北抗連に対し行った調査資料等については、今回初めて一般公開された。(25日付半島辰報A18面)

抗日戦争に参加した老兵士に期間限定の無料乗船サービスを提供

9月3日に「抗日戦争勝利70周年記念日」、9月10日に「教師節」を迎えるにあたり、中海客船有限公司は9月1日から20日までの期間、抗日戦争に参加した老兵士及び市レベル以上の榮譽証書を授与された教師を無料で当該企業の船舶に乗船させる公益活動を行う。(25日付大連日報3面)

24日：大型クルーズ船“中華泰山号”、台風の影響で韓国に臨時寄港

大連港から22日に日本に向け出航した大型クルーズ船“中華泰山号”は24日、台風15号の影響により従来の日程を変更し、韓国に臨時寄港した。(25日付大連日報3面)

25日：大型クルーズ船“中華泰山号”、無事大連に帰港

台風15号の影響を受け韓国に臨時寄港していた大型クルーズ船“中華泰山号”は乗客902名の安全を確保するため、日本行きの計画を中止し25日に無事大連に帰港した。(26日付大連日報4面)

抗日戦争勝利70周年を記念した遠泳大会開催

先日、大連各地の10以上の寒中水泳チームから約200名のベテランが老虎灘に集結し、短い儀式を終えた後、傅家荘に向け4kmの遠泳を開始した。当該遠泳活動は抗日戦争勝利70周年を記念して行われたもので、参加者は2時間かけて傅家荘までの4kmを完泳した。(26日付大連日報2面)

日本人2名、大連現代博物館に200点余りの日本軍関連コレクションを寄贈

大連現代博物館が大連日報と共同で行っている歴史資料収集活動に呼応し、2名の日本人が合わせて200点余りの1880年代から1940年代にかけての日本軍関連コレクションを大連現代博物館に寄贈した。寄贈者のうち1名は大連現代博物館の名誉館員であり、これまでも多くのコレクションを当該博物館に寄贈してきた。(27日付大連日報15面)

28日：国内初となる「ドラえもん車両」、大連地下鉄2号線にて運行開始

28日、国内初となる「ドラえもん車両」が大連地下鉄2号線にて運行を開始した。当該車両はマイカル大連本店が大連地下鉄運営有限公司等の協力の下企画したもので、大連初のテーマ性車両であるばかりでなく、全国で初の「百貨店車両」となっている。大連地下鉄2号線では毎日10列の車両が運行しており、「ドラえもん車両」に出会える可能性は高い。(28日付大連日報4面)

(注) 8月22日～28日の大連日報、半島晨报、大連晚报、新商報の記事をもとに作成。